公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催

日本　タイ王国
ティーンエイジアンバサダー

タイ王国
プログラム

2018

01/21-01/27

グローバルな環境で人的・文化交流等を通じて、価値観の多様性について学ぶため、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催で行われている「ティーンエイジアンバサダー事業」。その事業に海星学院高等学校も参加することとなり、1・2年生から男女10名の生徒が「小さな大使」として活動しました。2018年11月5日から11月11日までの1週間はタイの高校生を招聘し、日本プログラムが行われました。2019年1月21日から1月27日までは日本の高校生がタイへ派遣され、タイプログラムが行われました。

国際親善プログラムに参加し、政府訪問などを行う「大使活動」、授業体験やホームステイなどを行う「交流活動」、文化遺産への訪問や伝統文化を体験する「歴史・文化活動」を通じて、生徒の持続可能な社会の担い手としての主体性・協調性・コミュニケーション力・おもてなしの心などの資質を培いました。

また、本事業は日メコン交流年10周年認定事業でもあります。

プログラム日程

月日	時間	日程	
1月21日（月）	10：00	出国	
	15：50	バンコク着	
	18：30	オリエンテーション	
1月22日（火）	10：00	JETRO訪問	◆大使活動
	14：00	教育省表敬訪問	◆大使活動
	15：30	在タイ日本大使館員との質問会	◆大使活動
	18：00	歓迎会	◆大使活動
1月23日（水）	10：00	ロジャナ工業団地視察	★歴史文化活動
	13：15	アユタヤ遺跡訪問	★歴史文化活動
1月24日（木）	10：00	チュラロンコーン大学訪問	●交流活動
	14：00	織物づくり体験	★歴史文化活動
1月25日（金）	8：15	授業体験	●交流活動
	16：30	ホームステイ	●交流活動
1月26日（土）		ホームステイ	●交流活動
1月27日（日）		ホームステイ	●交流活動
	16：30	フェアウェルパーティー	●交流活動
	23：55	出国	
1月28日（月）	8：20	帰国	

1月の室蘭の平均最高気温	0℃
1月の室蘭の平均最低気温	-5℃
1月のタイの平均最高気温	34.7℃
1月のタイの平均最低気温	16.4℃

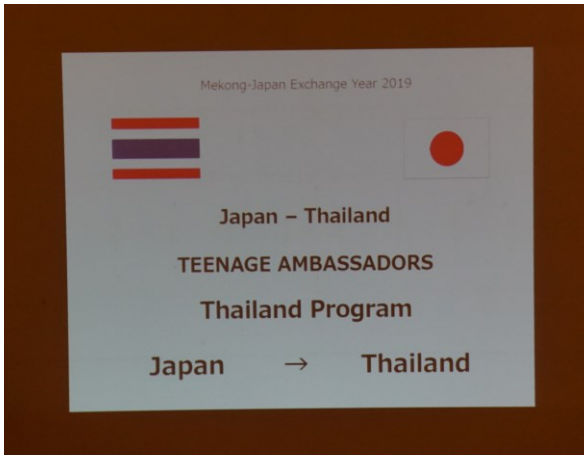
タイは日本から飛行機で約7時間。1月の平均気温は、室蘭とは30℃以上も差があります。現在タイは、海外進出をする日系企業の大きな活動拠点となっており、世界有数の在留邦人社会を有しています。タイという国は日本にとって、非常に身近で親交の深い存在となっております。また、2017年には日タイ修好130周年を迎えています。

DAY1

2019/01/21

出国・オリエンテーション

氷点下10度近くまで気温が下がった北海道から、1月でも最高気温30度を超えるタイへの出発は少しの不安と楽しみが入り混じっていました。日本プログラム以来、2か月ぶりにタイのバディと会うため、オリエンテーションでは不安や緊張もほぐれ、タイプログラムの良い始まりとなりました。



DAY2

2019/01/22

JETROバンコク訪問

JETRO
Japan External Trade Organizaition
日本貿易振興機構

ジェトロは貿易・投資促進と開発途上国研究を通じ、日本の経済・社会の更なる発展に貢献することを目指しています。

JETROバンコクのオフィスにおいて、タイの一般情勢や経済・政治情勢についてレクチャーしていただき、タイと日本の強いつながりを学びました。また、今回のティーンエイジアンバサダープログラムの大きなテーマである「防災」に関わって、タイ大洪水後のJETROの対応についても教えていただき、改めてタイ大洪水の被害の大きさを実感する機会となりました。

タイ王国教育省表敬訪問

教育省を表敬訪問しました。タイ王国教育省教育副大臣から、小さな大使として活動する両国高校生に、今回のタイプログラムに向けて激励の言葉をいただきました。

質問会・歓迎会

在タイ日本国大使館代表者の方への質問会では、タイにおける日本文化についての質問が上がりました。歓迎会では、大使閣下への記念品が贈呈され、また、両国高校生によるパフォーマンスも披露されました。

DAY3

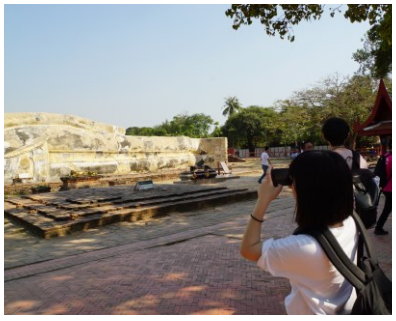
2019/01/23

ロジャナ工業団地訪問

バンコクから南へ移動し、アユタヤにあるロジャナ工業団地を訪問しました。日本企業の工場が多くあり、2011年の大洪水の時にも無数の車が水面に浮いている映像が日本でも報道されました。ロジャナ工業団地における洪水発生の概要、洪水後の対策について尾羽根拓氏にレクチャーしていただきました。レクチャーののち、壁に残る大洪水の跡と大洪水の後に建設された防水壁を視察しました。

アユタヤ遺跡訪問

タイの歴史を学ぶため、アユタヤ遺跡を訪問しました。アユタヤ王朝の都として1350年から約400年栄えた古都です。現在は、当時の遺跡が歴史公園として保存され、世界遺産にも登録されています。今回は、ワット・プラ・マハタート、ワット・プラ・シーサンペット、ワット・ロカヤ・スターラームの３カ所を巡りました。



DAY4

2019/01/24

チュラロンコーン大学訪問

タイで最も古い歴史をもつ国立大学、チュラロンコーン大学を訪問し、ナットリーラワット教授からタイの洪水についてレクチャーを受けました。グループに分かれ、洪水が発生した場合のシミュレーションについてディスカッションし、洪水に対するマネジメントについて理解を深めました。その後、チュラロンコーン大学の在学生と交流し、互いの国の紹介をしたり、将来の夢を叶えるために今、何が必要かなど話したりしました。

織物体験

バンコク市内のゲートウェイ・エカマイの中にあるThe LOOMにおいて、織物体験を行いました。カラフルな糸を織っていき、それぞれの個性が光るリストバンドを作成しました。形に残る思い出作りに、真剣に取り組みました。

DAY5

2019/01/25

授業体験

ドンムアンタハンアーカットパムルン校において授業体験を行いました。およそ3000人の生徒に迎えられて歓迎セレモニーが行われ、本校から校長へ記念品として浮世絵を贈呈しました。また、よさこいソーランや学校紹介スピーチを通して、海星学院高等学校と日本の紹介をしました。

午前のプログラムでは、それぞれのバディのいるクラスの授業を一緒に受け、日本の授業との違いを実感しました。その後、調理実習でトムヤムクンとフライドエッグを作り、バディと一緒に食べました。

午後のプログラムにおいて、タイではお守りとなるフラワーガーランド作り、タイダンス体験、タイボクシング体験をしました。

DAY5-7

2019/01/25-27

ホームステイ

授業体験後、学校でホストファミリーに迎えられ、ホームステイが始まりました。それぞれの家庭でタイ国内を観光し、また、タイの家庭の生活を体験しました。慣れない習慣に戸惑いながらも、バディに支えられながら、2泊3日のホームステイをしました。もっと一緒にいる時間が欲しかった、もっとホストファミリーと話していたかった、ホームステイが終わるころにはそんな声が多く聞こえました。

フェアウェルパーティー

最終日の夜、フェアウェルパーティーが行われました。今回のプログラムを振り返ったスピーチや両国高校生によるパフォーマンスでパーティーを盛り上げました。抱きしめ合いながら、涙を流す姿が、充実したプログラムであったことを物語っていました。